

## 【家庭教育支援チーム】

チーム名 (呼称)	山口市家庭教育支援チーム (呼称:山口ゆだ・かべり)
活動開始年度	平成28年度
活動拠点	山口市立湯田中学校(山口市児童文化センター・湯田地域交流センター)
活動範囲	山口市立湯田中学校・小学校区、山口市内全域 等
活動財源	<input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(地域における家庭教育支援基盤構築事業) <input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業( ) <input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名 ) <input type="checkbox"/> 地方単独事業として実施 <input type="checkbox"/> 特段の予算措置はないが、自主的に活動を実施 <input checked="" type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 (山口市子ども未来課地域子育て支援拠点地域支援事業・社会教育課放課後子どもの居場所づくり推進事業)
組織体制	<u>26 人</u> 子育て支援員 9 人、保育者 5 人、家庭教育アドバイザー 2 人、地域協育ネットコーディネーター 1 人、社会福祉士 1 人、保育心理士 1 人、元教師 3 人、元大学教授 1 人、大学教授 2 人、大学生 2 人、校長 2 人、事務職員 2 人、センター所長 1 人、主査 1 人、館長 1 人、利用者支援専門員 1 人、地域子育て支援コーディネーター 1 人、市社会福祉協議会理事 1 人 (資格の重複あり)、地域のみなさん
具体的な活動内容	<input type="checkbox"/> 講座型 <input type="checkbox"/> 拠点型 <input type="checkbox"/> 訪問型 <input checked="" type="checkbox"/> 総合型 <input checked="" type="checkbox"/> その他(学校内の空き教室や CS ルームを使った家庭教育支援チームの活動を提案・企画・コーディネート・家庭教育支援チームの周知活動 )  子育て中の親や子どもたちが地域の多様な世代の人々と交流することで、子育て家庭にそっと寄り添い、学びや育ち合いの機会が得られるような場づくりを実施している。  <b>●中学校ひろばの開設(中学生と乳幼児親子・地域とのふれあい交流)と運営</b> 毎週水曜日、中学校の CS ルーム(余裕教室)に中学校ひろばを開設し、昼休みの時間(13 時～13 時 30 分)を中心に乳幼児親子や地域の方と中学生がふれあい交流を実施している。(地域と未就園乳幼児親子と中学生を交流事業で繋ぐ) ・通常ひろば(毎月 1 回以上 必須) あそびの交流企画以外はノンプログラムで子育て中の親子や地域のみなさんが気軽に立ち寄り、中学生との交流ができる居心地のいい空間を設け、多世代交流を実施。

・地域子育て支援講座(毎月1回)  
 中学校教師や自分のスキルを生かしたい地域の方が講師となり、ひろば開催時に子育て支援講座を実施する。  
 (参加者は乳幼児親子と地域のみなさん・中学校や小学校で教室がしんどいお子さん・発達支援学級のお子さん等)

・乳幼児親子ふれあい教室(毎月1回)  
 ミドルスクール～ひろばアカデミー～ bebe クラブ・バンビ club を実施  
 チーム員の保育有資格者が中心となって企画する、親と子のつながり(愛着関係を育む)を大切に親子あそびと親同士の仲間づくりの交流アクティビティを0歳1歳2歳の年齢ごとに、お昼休みの中学生とのふれあい「中学生のおにいさん、おねえさんとあそぼう!!」をプログラムに組み入れて実施している。

・なんでも相談  
 ひろば実施の日は全て乳幼児・小学生・中学生・高校生の保護者を対象とした相談対応が可能。ケースにより家庭訪問を実施している。

●「あそびの森 maru」の開設(長期休みを除く毎月第1・第4水曜日)  
 ～地域のみなさんと子どもたちのふれあいひろば～  
 地域の小学校児童を対象としたあそびの体験や学習サポートの場を地域交流センターで毎月2回(全16回)実施している。(地域外の不登校児童親子参加も可)

・自主的な学習活動 全学年  
 宿題をする・本を読む・さまざまな体験から学ぶ意欲を育む。  
 \* 4年生以上の子どもは、選任講師が個別で苦手なところを教え、サポートする。  
 学習支援が必要な子どもの特別プログラムを実施(通級クラスやレベル対応に特化)

・主体的なあそびの創造活動 1年生 2年生 3年生  
 作る・描く・表現するなどの文化活動や自然の中で身体を動かしてあそぶ野外遊びを通して子どもたちが主体的にあそびを発想し創造する力を培う。

・食育体験や交流活動 1年生 2年生 3年生  
 地域の方や専門家の方のおやつ作りによる食育体験や多世代交流・グローバル体験交流で人間関係づくりやコミュニケーション能力を養う。

・森カフェ・maruトーク(地域を越えての参加も可)  
 保護者が Mytea グッズ持参で月1回 maru の実施日におしゃべりサロンを実施している。教育相談の場や子育てを共有する場となっている。

●研修の場  
 ・将来教育・保育に携わる大学生や社会人の経験と体験の場として機能するようにコーディネートしている。

●ミーティング  
 ・活動実施前後に、活動拠点の学校の家庭教育支援員等が集まり、情報共有や、事例検討、企画などについて話し合いの機会を持っている。

<b>活動の成果</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校内や地域交流センター内に活動の場があるということはとても効果的で、その場が地域の居場所として、子育てを支え合える場や、生涯学習の場として機能することにより、地域の中で、福祉分野と教育分野、行政と市民が連携した切れ目のない家庭教育支援の基盤ができてきている。</li> <li>・学校と地域が連携し、ある意味一体となって、地域のもの・こと・人といった環境や資源を有効に取り入れた体験活動を実践していくことで、地域の中の子育て家庭への見守りのまなざしが少しずつ増えてきており、家庭教育支援活動への主体的な参加者や協力体制が地域の中でできてきている。</li> </ul>
<b>活動において苦労した点や課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動 3 年目に入ったが、世代が混ざり合う交流の企画内容を試行錯誤しながらその都度、様子を見ながら柔軟性を持って対応していくことが必要になってきている。</li> <li>・様々な企画をお試しで実施しながら、継続につながる活動や間接的支援の方法を日々模索している。</li> </ul>
<b>今後の活動目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校の CS ルームあるいは余裕教室を利用しての、教室がしんどい子ども、学校が辛い子どもたちへのサポート活動。</li> </ul>
<b>問合せ先</b>	<p>(部署・氏名等)</p> <p>特定非営利活動法人 やまぐちレーテ子育て Bambini</p> <p>子育て支援交流広場「ちゃ☆ちゃ☆ちゃ」</p> <p>(TEL)083-922-4325 (E-mail)cha-cha-cha@hotmail.co.jp</p>